

Jxiv ガイドライン

2022年3月24日初出

2022年12月22日改訂

本ガイドラインは、Jxivの投稿規約と同じく投稿者および著者を拘束するものであり、投稿者は、本ガイドラインにしたがってプレプリントおよび関連データを投稿・公開することになります（以下、投稿されたデータを「プレプリントデータ」といいます。）。本ガイドラインは、JSTの裁量により予告なく変更されることがあります。Jxivには、自然科学・人文学・社会科学を含むすべての研究分野にかかわる、英語あるいは日本語のプレプリントが投稿可能です。

投稿料や掲載料などはなく、プレプリントは無料で公開されます。

Jxivへの投稿・公開について不明な点が生じた場合は、お問い合わせのまえに、投稿マニュアルおよびFAQを参照してください。それでも解決しなかった場合は、電子メール (preprint@jst.go.jp) にてお問い合わせを受け付けます。いかなる場合でも、電話でのお問い合わせは受け付けられません。投稿者が投稿・公開したプレプリントについてお問い合わせされる場合には、Jxivのディスカッション機能をご利用ください。

1. アカウントを作成する前に

1-1 ジャーナルの投稿規程の確認

Jxivにプレプリントデータを投稿する前に、投稿予定のジャーナルの投稿規程を十分にご確認ください。プレプリントとして公開された論文の投稿を受け付けないとしているジャーナルや、受け付けるむねが投稿規程に明記されていないジャーナルがあります。

1-2 ジャーナル・他のプレプリントサーバへの投稿との関係

すでにジャーナルに受理あるいは公開・出版されている原稿や、他のプレプリントサーバに投稿あるいは公開されている原稿は、Jxivには投稿できません。また、ジャーナルへの投稿の後にその原稿をJxivに投稿する場合は、投稿したジャーナルから許諾を得てください。

2. アカウントの作成

Jxivにプレプリントデータを投稿するにあたっては、Jxivのアカウントを取得する必要があります。アカウントの取得には、researchmapのアカウントまたはORCIDのアカウントを持っていることが必要です。Jxivのアカウント作成にあたっては、アカウント作成者の情報を日本語と英語の両方で入力・登録する必要があります（日本語での記載ができない場合は英語で入力ください）。

3. 投稿について

researchmapのアカウントまたはORCIDのアカウントを用いてJxivにログイン

し、書誌情報を入力・登録しプレプリントデータをアップロードします。Jxiv では、PDF 形式にて作成した原稿（以下、「原稿 PDF」といいます。）の投稿・公開が必須になります。また、英語あるいは日本語のいずれか一方のプレプリントの投稿・公開が可能です。

3-1 書誌情報の登録

Jxiv の投稿システムに書誌情報を入力・登録します。また、原稿 PDF にも書誌情報を記載します。Jxiv の投稿システムに登録する書誌情報は、原稿 PDF に記載した書誌情報と、完全に一致するようにしてください。

Jxiv に登録する書誌情報について、タイトル、抄録、（すべての）著者名（姓および名）、（すべての著者の）電子メールアドレス、（すべての著者の）国名、（すべての著者の）所属機関、キーワードの入力・登録が必須となります。

英語のプレプリントを投稿する際に、Jxiv の日本語表示画面でも英語で書誌情報を表示したいときは、英語入力欄のみを入力するようにしてください。

日本語のプレプリントを投稿する場合には、タイトル、著者名、所属機関、キーワードについては日本語および英語での登録を必須とします。抄録については英語での入力・登録は任意で、日本語のみの入力・登録でもかまいません。

また、書誌情報の入力の過程でクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを選択・登録する必要があります。

Jxiv の書誌情報における著者名の入力にあたっては、原稿 PDF に記載されたとおりの順に、すべての著者名を正確に入力してください。入力した著者順および著者名がそのまま書誌情報として公開されます。

Jxiv の書誌情報における引用情報（参考文献）の入力にあたっては、入力した引用情報がそのまま書誌情報として公開されますので、入力の際には過不足のないよう十分にご注意ください。

原稿 PDF に記載する書誌情報については、タイトル、（すべての）著者名、（すべての著者の）所属機関、責任著者（Corresponding author）とその電子メールアドレス、キーワードの記載を必須とします。責任著者およびその電子メールアドレスは Jxiv の書誌情報としては表示されず、原稿 PDF のみでの表示になりますのでご注意ください。

著者名、引用情報等を含むいったん公開された書誌情報を訂正したい場合は、5. で述べる改版の手続きが必要となります。

書誌情報	Jxiv 投稿システム			原稿 PDF
	必須登録項目	日本語プレプリント	英語プレプリント	必須記載項目
		入力言語	入力言語	
タイトル	○	日英必須	英必須（日は任意）	○
抄録（要旨）	○	日必須（英は任意）	英必須（日は任意）	○
すべての著者名 （姓および名）	○	日英必須	英必須（日は任意）	○
すべての著者の 電子メールアドレス	○			
すべての著者の国名	○			
すべての著者の所属機関	○	日英必須	英必須（日は任意）	○
責任著者				○
責任著者の 電子メールアドレス				○
キーワード	○	日英必須	英必須（日は任意）	○
引用情報（参考文献）	○			○
利益相反の開示	○	日英必須	英必須（日は任意）	

3-2 JSTからの連絡

JSTからの連絡は、主に投稿者に行いますが、投稿者と責任著者（Corresponding author）が異なる場合、責任著者に連絡することもあります。また、場合によってはその他の著者に連絡することもあります。

3-3 スクリーニング

Jxivに投稿されたプレプリントデータはJSTにて最低限のスクリーニングをおこなったうえで、投稿者・プレプリントデータが投稿規約をみたしており公開に問題がないと判断されたもののみを公開します。通常、プレプリントデータは投稿から48時間（JSTの休日は含まない）以内に公開されます。

3-4 取り下げ

投稿したプレプリントデータが公開される前であれば、投稿者はJxivのディスカッション機能を用いて申告することにより、プレプリントデータを取り下げることができます。この場合、Jxivには取り下げられたプレプリントデータに関する情報はまったく公開されません。

3-5 投稿の要件を満たさない場合

Jxivへの登録や原稿PDFへの記載を必須としている要件を投稿者が満たしていないな

ど、Jxiv 管理者が公開する前に修正が必要であると判断する場合には、Jxiv のディスカッション機能を用いて投稿者に修正を依頼します。この場合、投稿者は Jxiv 管理者がディスカッション機能によるメールを送信してから 48 時間以内（JST の休日は含まない）に対応を行い、対応が終了したむねの連絡を行ってください。48 時間以内に対応終了の連絡がない場合には、公開不可とします。

4. ファイル形式等について

4-1 ファイルの形式およびサイズ

Jxiv に投稿する原稿はテキストを抽出できる PDF 形式にて作成してください（原稿 PDF）。Jxiv 専用のフォーマットはとくにありません。投稿者は各自で、ジャーナルに投稿することを前提とした標準的なスタイルにて原稿を作成してください。ファイルサイズは 20 MB を超えないものとします。原稿 PDF のアップロードの際にファイルの表示名の入力を求められますが、これは「PDF」としてください。

4-2 原稿 PDF の記載方法

原稿 PDF は、タイトルページ（書誌情報としてタイトル、著者名、所属機関、責任著者の明示とその電子メールアドレス、キーワードの記載が必須）、抄録（要旨）、本文、謝辞、引用情報（参考文献）、図、表など、必要に応じた項目をすべて含めた 1 つのファイルとして作成してください。

4-3 原稿 PDF の公開について

Jxiv に投稿された原稿 PDF は、投稿者がアップロードしたファイルをそのまま公開することとし、JST では一切の加工・編集は行いません（撤回となった場合は除きます）。Jxiv の閲覧者は、原稿 PDF を自由にダウンロードすることが可能で、投稿者が指定したクリエイティブ・コモンズ・ライセンスにしたがって利用することができます。公開後に修正を希望する場合でも、いったん公開された原稿 PDF を取り下げたり削除したりすることはできません。いかなる修正であっても、いったん Jxiv に公開された原稿 PDF の修正には、5. で述べる改版の手続きが必要となります。

4-4 関連データについて

関連データとして、Microsoft Word 形式あるいは LaTeX 形式の原稿ファイル、図や表（ファイル形式は自由）、および、補足データ（ファイル形式は自由）を任意で 20 件まで添付することができます。ファイルサイズの上限は 1 ファイルあたり 20 MB です。関連データのアップロードの際にファイルの表示名の入力を求められますが、これは Word、LaTeX、JPEG など、原則としてファイル形式としてください。いずれのファイルについても投稿者がアップロードしたファイルをそのまま公開することとし、JST では一切の加工・編集は行いません。Jxiv の閲覧者は、これらの関連データのファイルを自由にダウンロードすることが可能で、投稿者が指定したクリエイティブ・コモンズ・ライセンスにしたがって利用することができます。公開後に関連データの修正を希望する場合でも、いったん公開された関連データを取り下げたり削除したりすることはできません。関連データの修正には、5. で述べる改版の手続きが必要となります。

原稿 PDF のほか関連データを公開する場合、ファイルの並び順は原稿 PDF を先頭にするようにしてください。ファイルの並び順はファイルをアップロードする画面で変

更が可能です。

5. 改版について

5-1 改版を行うケース

Jxiv では、いったん公開されたプレプリントデータおよび書誌情報を修正・改訂するにあたり、上書きによる修正・改訂はいっさい行えず、前の版を閲覧可能にしたまま改版することにより修正を行います。原稿 PDF を修正する場合だけでなく、著者名、引用情報等を含む書誌情報を修正する場合、関連データを修正あるいは追加する場合にも、すべて改版の手続きが必要となります。

Jxiv では、プレプリントがジャーナルに受理されたのちには改版はできません。また、ジャーナルによる査読の結果あるいはコメントにもとづいた改版はできません。

5-2 改版の投稿

改版は、そのプレプリントがジャーナルに受理される前であれば、投稿者が希望するときにいつでも行うことができます。改版を行うことができるのは投稿者のみです。改版にあたっては、Jxiv の書誌情報に改版理由を（日本語プレプリントの場合には英語・日本語の両方で）入力・登録することが必須となります。原稿 PDF あるいは関連データの改版をアップロードするにあたり、ファイルの表示名には PDF_ver.2, PDF_ver.3, Word_ver.2, Word_ver.3, LaTeX_ver.2, LaTeX_ver.3 などと、バージョンを明記してください。新しいバージョンのファイルをアップロードにあわせ、古いバージョンのファイルは削除します（この操作により、Jxiv から古いバージョンのファイルが削除されるわけではありません）。

投稿者は Jxiv に改版理由を含む書誌情報を登録し、原稿 PDF あるいは関連データの改版のアップロードをすべて終了したら、Jxiv のディスカッション機能を用いて改版の投稿を完了したことを申告する必要があります。申告の時点で、投稿された改版の修正はできなくなります。

5-3 版管理と公開

改版により複数の版が生じた場合も、すべての版は同一の DOI となります。

Jxiv では、いったん公開された原稿 PDF および関連データのすべての版は、いかなる理由があっても、投稿者および著者の意向により削除あるいは非公開化することはできません。改版があった場合も、改版前の版をふくむすべての版は閲覧可能な状態で公開されつづけます。

改版を行った場合には、書誌情報として改版日時および改版理由が表示されます。改版の回数に制限はなく、そのプレプリントがジャーナルに受理されるまでは何度でも改版することが可能です。

5-4 改版のスクリーニング

改版として投稿されたプレプリントデータは、初回の投稿のときと同様に、JST にて最低限のスクリーニングをおこなったうえで、投稿者・プレプリントデータが投稿規約をみたしており公開に問題がないと判断されたもののみを公開します。通常、改版は投稿から 48 時間（JST の休日は含まない）以内に公開されます。

6. ジャーナル公開版の出版後について

6-1 ジャーナル公開後

プレプリントがジャーナルに受理され出版・公開されたのちも、プレプリントデータは削除あるいは非公開化されることなく、査読前原稿としてオープンアクセスで半永久的に公開されつづけます。なお、プレプリントがジャーナルに受理された時点で、改版はできなくなります。

また、ジャーナル公開版の出版にともないプレプリントの著作権表示を変更あるいは削除することはできません。また、いったんプレプリントに付与された CC ライセンスは、クリエイティブ・コモンズの規定により変更あるいは削除することはできません。

6-2 公開版へのリンクの設定

プレプリントが出版された場合、投稿者はかならず、公開版へのリンクを設定してください。Jxiv にログインすることにより設定が可能です。リンクは、公開版の DOI によるものとします。

7. 撤回について

7-1 撤回

JST は、投稿者・プレプリントデータが投稿規約記載の要件あるいは本ガイドライン記載の要件を具備していないと判断した場合、プレプリントデータを撤回とすることがあります。その判断にあたっては、出版倫理委員会 (Committee on Publication Ethics: COPE) のガイドライン (<https://publicationethics.org/retraction-guidelines>) に準拠します。撤回の判断は JST のみが行います。

プレプリントデータが撤回にあたりと判断した投稿者および著者 (のうちのいずれか) は、JST にその撤回を申し出ることができます。申し出があった場合、JST は撤回について検討しますが、必ずしも撤回されるわけではありません。

JST は撤回について投稿者および著者に通知を行うことがありますが、撤回について投稿者および著者に同意を求めることはありません。

7-2 撤回されたプレプリントデータと書誌事項の表示

撤回されたプレプリントデータは、撤回となったことを原稿 PDF の先頭ページに明示したうえで、そのまま公開され続けます。プレプリントデータに改版により複数の版がある場合には、原稿 PDF および関連データのすべての版が撤回となります。すべての書誌情報は、撤回となったこと、および、その理由と日付を明示したうえで公開され続けます。撤回の理由は JST が作成します。

7-3 撤回されたプレプリントデータの再投稿

撤回されたプレプリントデータを改版することはできません。

同一の投稿者または著者 (のうちのいずれか) が、撤回されたプレプリントデータについて、その原因をすべて修正して新規のプレプリントデータとして再投稿することは禁止されていません。その場合も、撤回されたプレプリントデータはそのまま公開され続け、新規のプレプリントデータが Jxiv から公開された場合には、撤回されたプレプリントデータとは異なる DOI が付与されます。

7-4 公開停止

JST は投稿者・プレプリントデータが投稿規約記載の要件あるいは本ガイドライン記

載の要件を具備しておらず本投稿サービスにおける公開が不適切であると判断した場合、プレプリントデータを撤回としたうえで公開停止とすることがあります。公開停止の判断は JST のみが行います。プレプリントデータが撤回にくわえ公開停止となった場合は、原稿 PDF および関連データのすべての版が撤回となり、さらに閲覧およびダウンロードができなくなります。すべての書誌情報は、撤回および公開停止となったこと、および、その理由と日付を明示したうえで公開され続けます。撤回および公開停止の理由は JST が作成します。撤回かつ公開停止となったプレプリントデータを修正して新規のプレプリントデータとして Jxiv に再投稿することはできません。

8. 引用方法

Jxiv のプレプリントを引用する際には、以下の例を参考にしてください。

Kasuke Kagaku, Sakura Gijutsu, and Sabumi Kikou. 2022. JST starts operation of preprint server Jxiv. Jxiv, doi: <https://xxxxxxx>

Kasuke Kagaku, Sakura Gijutsu, and Sabumi Kikou. 2022. JST starts operation of preprint server Jxiv. Jxiv, doi: <https://xxxxxxx>, version 2

科学香助、技術さくら、機構佐文 2022. JST のプレプリントサーバ Jxiv の運用開始. Jxiv, doi: <https://xxxxxxx>

科学香助、技術さくら、機構佐文 2022. JST のプレプリントサーバ Jxiv の運用開始. Jxiv, doi: <https://xxxxxxx>, version 2